

復旧・復興支援データベースAPI改善提言へのご回答

復旧・復興支援制度データベースに貴重な提言を頂戴し、ありがとうございました。検討させていただいた結果、できる部分から改善を図っていくこととなりました。予算や制度部門との調整が必要など、様々な制約条件がある中で、今回改善できないものもありますが、皆様方からのご提言は、今後の機能改善に生かしていきたいと考えております。今後ともお気づきの点などご指摘いただければ幸いです。

No.	提言内容	対応可否	対応内容／検討内容	対応スケジュール(予定)	
1	4.「APIの運用について」の提言	○	今後、廃止となるAPIが出てきた場合は、APIリファレンスページにて、“非推奨”の記載をし、一定期間(1年程度)はそのまま利用できる状態とします。 また、可能であれば代替の新しいAPIを用意し、リファレンスページにて推奨します。	随時	
2		○	APIの仕様変更については、既存機能に影響があるものについては、廃止予定と同様の扱いとし、代替の新しいAPIを用意します。 また、影響の度合いが少ないと思われるものは、事前にAPIリファレンスページにて告知を行うこととします。	随時	
3		△	SNSを含め、情報配信、コミュニケーション手段については引き続き検討させていただきます。		
4	5.1. JSON データ形式の採用	○	改良案: JSON 形式の採用を提案する。	JSON形式でのレスポンス対応を実施予定です。	10月リリース時
5	5.2. CORS (Cross-Origin Resource Sharing) への対応	○	改良案: 5.1 の採用による JSONP の提供を提案する。	JSON対応時にJSONPを提供する予定です。	10月リリース時
6		●	改良案2: XML 形式を維持する場合は Access-Control-Allow-Origin の適切な設定による XMLHttpRequest2 への対応を提案する。	Access-Control-Allow-Originについては、設定済みです。	7月リリース時対応済み
7	5.3. “IDs”やOpenUM形式内のレスポンスデータ改修	○	改良案: 5.1 を採用し、その中で JSON の配列として “IDs” を実装することを提案する。	JSON形式に対応の際、要素配列として実装します。	10月リリース時
8		△	改良案2: XML 形式を維持する場合は、カンマ区切り等ではなく XML のタグで区切ることでデータ列を表現することを提案する。	XML形式のレスポンスについては、既存項目の変更定義を含めた検討が必要になります。将来の課題とさせていただきます。	
9		○	改良案3: 改行は「CR+LF」か「LFのみ」のいずれかに統一し、仕様上で明記することを提案する。	対応いたします。(「LFのみ」に統一)	10月リリース時
10	5.4. レスポンス・データを構造化	△	改良案: 必要なデータのみを構造化するように API を設計し直すことを提案する。 また「自由記述のテキスト」というデータ形式を可能な限り排除・限定することをあわせて提案する。	既存項目の変更定義を含めた検討が必要になります。将来の課題とさせていただきます。	
11		△	全APIで日付を統一フォーマットまたはdate型に対応	データ収集フォーマットの変更や既存データの移行作業が必要になりますので、将来の課題にさせていただきます。	

12	5.5. 実用的な検索	<p>改良案: ありうる全てのフィルターの需要に対応することは難しいため、実用的によく使われるフィルタリング・パラメータを推定し、いくつかの新しいパラメータを提供することを提案する。</p> <p>備考: 需要が多いと思われるパラメータ</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 現時点・ある時点でその制度が有効かどうか ■ 検索条件の中で利用率がもっとも高いものをパラメータとする。 	△	<ul style="list-style-type: none"> ・リクエストは随時受け付けて、定期的に対応可否を判断していきます ・「現時点・ある時点でその制度が有効かどうか」については、後述(No.14)を参照してください。 	
13	5.6. 復旧・復興支援制度データベースAPIリファレンスの改善	改良案: API仕様単体の表記ではそこまで問題がないが、回遊性という観点から他Web API提供サイトの構成を踏襲することで、ターゲットとしているWebAPI利用者の敷居を下げる。	△	将来の課題とさせていただきます。	
14	6.「提供するデータについて」の提言	終了した支援制度の区別ができる情報	△	申込終了、支援終了等、いくつかのパターンがありますので整理をしてまいります。将来の課題とさせていただきます。	
15		「窓口へお問い合わせください」の解決(窓口情報の可視化と地理情報の紐付け)	△	関係機関が多く、機関により対象地域が異なる場合がありますので、現在は対応できていません。将来の課題とさせていただきます。	
16		特定のイベントが発生したかどうかを判断できる情報の追加(過去のものとの差分が取得できない)	×	過去のものとの差分の情報は、現在の機能に含まれていないため、大幅に変更が必要になります。他の課題との優先度を考え、当面、非対応とさせていただきます。	
17		制度と制度の依存関係に関する情報の追加	△	制度情報全体の整理が必要ですので、将来の課題とさせていただきます。	
18		申請期限(application_deadline)	△	複数の申請期限に対応することはデータフォーマット作成時に想定されていませんでした。将来の課題とさせていただきます。	
19		エントリのアクセス記録(アクセス数・アクセス日時)	△	<ul style="list-style-type: none"> ・アクセス数については、データベースに保持しているため、APIで公開が可能です。今後検討いたします。 ・アクセス日時については、データベースの肥大化を避けるため保持していません。 	
20		支援制度フォーマットの画一化	△	基本的なフォーマットは統一しましたが、詳細の記載の仕方までは画一化されていません。今後の課題とさせていただきます	
21	制度に対する予算の可視化	△	現在の機能の充実を優先しているため、将来の課題とさせていただきます		
22	実際に申請された件数	△	現在の機能の充実を優先しているため、将来の課題とさせていただきます		

- 対応済み
- 対応予定
- △ 検討が必要
- × 当面は対応を見送り